※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 401 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校生の美術２　（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで学んだことをもとに、生涯学習社会の一層の進展に対応して、美術が心豊かな生き方を実現するために役立っていることに気付くとともに、よりよいものを生み出そうとする自覚を高める。
・ものづくりにおける美術の役割や日本及び諸外国の美術文化についての理解を深められるよう知識と技能の習得を目指します。
・表現と鑑賞を行う中で、主体的な考えや判断を生かす創造活動を行いましょう。知識と知恵を統合し自己の価値意識を主体的に発信・伝達するための発展的な課題に取り組みます。
・作品の制作が中心となりますが、作品制作においては計画的な取り組みが不可欠となります。制作過程ごとの準備課題や振り返りシート、鑑賞シートなど文章表記によるレポート形式の課題も求めます。

## ２　学習の到達目標

・美術の創造的な諸活動を通して，美的体験を豊かにし，生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし，美術文化について理解を深める。
・美術Ⅰで学んだ幅広い美的体験の上に立ち，創造的な美術の諸活動を通して，自然や自己，社会などを深く見つめ表現する能力や，美術作品を多様な視点から分析し理解したり，心豊かな生き方にかかわる美術の働きを理解したりするなどの鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとしている。特に，生徒自らが課題を見付け解決する能力を養うため，主体性や個性を尊重し，生徒のよさや美意識を生かした学習活動になるよう配慮し，感性を高め，美術を愛好する心情をより深いものにしていくことを重視している。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。<br>・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 |

※令和４年度以降入学生用

| |
|---|
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 連続模様による装飾表現 | ・日本や世界の文様や装飾パターンについて、鑑賞し学ぶ。<br>・身近なものに連続模様を描く | a:日本や世界の伝統装飾や文様について知識と理解を深める。<br>b:装飾パターンのデザインについて、その描画技法や視覚的効果について構想を練るとともに、主題に応じてデザインを展開し、視覚的効果が見られるよう工夫して表現する。<br>c:美しい装飾的表現に関心を持ち、創作活動に主体的に取り組むとともに、見方や感じ方を深めている。 | 作品<br>観察 | アイデアスケッチ<br>制作シート<br>観察 | キャプションシート<br>合評会<br>観察 |
| | 視覚伝達デザイン | 【デザイン】<br>・色彩構成<br>・色彩学 | a:アクリル絵の具の特性を活かし、表現方法を工夫して条件や計画を基に表現している。色彩知識をつける。<br>b:デザインの役割について理解を深め、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。<br>c:生活社会における美術・デザインに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 | 作品<br>小テスト | 作品<br>レポート | 作品<br>学習の状況観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 工芸 | 【工芸】<br>・ステンドグラス<br><br>・合評会 | a:他者の作品の良さや美しさに気づき、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。<br>b:立体の制作に関して、用途に対する強度や細工、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。<br>素材の特性を活かし、表現方法を工夫して表現している。<br>c:素材の特徴を活かした表現に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 | 作品<br><br>スケッチブック | 作品<br><br>スケッチブック<br><br>レポート | 作品<br><br>スケッチブック<br><br>レポート<br><br>学習の状況観察 |
| 2 | スケッチ | ・観察力を向上させる。<br>・素描に必要な知識と技能を習得する。<br>・お互いでモデルを行うことで、人体の動作について考える。 | a:モノの構造や特徴を瞬時に読み取り、それを描写表現できている。<br>b:短時間での観察表現ができている。<br>c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 | 作品 | レポート | 作品<br><br>スケッチブック<br><br>レポート<br><br>学習の状況観察 |
| | 立体描写 | 【木彫】<br>・技法<br><br>・モチーフの構造理解<br><br>・立体描写<br><br>・合評会 | a:画材や素材の特性を活かし、表現方法を工夫してモチーフの構造まで理解して造形している。<br>b:表現形式の特性を活かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。<br>対象を見つめて形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。<br>c:作品の特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 | 作品<br><br>スケッチブック | 作品<br><br>スケッチブック<br><br>レポート | スケッチブック<br><br>学習の状況観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 美学美術史 | ・作品と作家について、映像などを通して学ぶ。 | a:他者の作品の良さや美しさに気づき、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている<br>c:美術の表現や美術文化の変遷について主体的に鑑賞し、見方や感じ方を深めている。 | 作品 | | 鑑賞レポート<br><br>学習の状況観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度